14　団体コラボ

水辺と公共交通の概念を変える！狐森島開拓プロジェクト

団体名／ミライソウゾウラボ　　補助金額／800,000 円

【事業の目的】

・市内唯一の無人島「狐森島」を活用し、新たな交流・体験拠点を創出。地域行事「かわこの朝市」などと連携し、地区住民を主体的に巻き込む取組みを展開する。
・古くからの地域資産である「矢田の渡し」を再評価し、水上交通の活性化につなげる。
・担い手不足という共通課題に対し、地域内外の人材が対等に関われる場づくりを通じて、持続可能なまちづくりの土台を築く。

【事業の内容】

・無人島「狐森島」を、新たな体験拠点として整備・活用。ツリーハウスや遊具などの集客拠点を制作する。
・制作は職人の監修の下、DIY ワークショップや体験イベントとして展開し、仲間づくりや地域交流の機会とする。
・住民・観光事業者と連携し、水辺の風景や移動手段そのものが魅力となる新たな公共交通やまちづくりの可能性を検証する。その中で、島の整備・利用モデルの試行を行い、持続可能な活用スキームを探る。

【事業の成果】

・島の木材資源や廃材を活用し、ツリーハウス・ウッドデッキ・ドラム缶ピザ窯 2 基・ブランコ 3 基・薪ストッカー・ベンチ等を DIY により製作した。草刈り・木の剪定も定期的に実施し、トイレの建屋も整備した。
・狐森島において、船で渡るアクセス体験と自然環境を活かした滞在体験を組み合わせることで、高い満足度を伴う体験拠点として成立することを実証した。
・担い手不足が課題となる地域においても、地域外人材の主導的な参画、アクセス手段の確保と最低限の滞在環境整備により、地域資源を活かした賑わい拠点づくりが可能であることを、活動を通じて示すことができた。







